

令和6年度・7年度道徳委嘱

記入者（ 成井 ）

担当学年（ 3学年 ）

授業で扱った教材名（ 二通の手紙 ）

道徳的価値（ 公德心・遵法精神 ）

1 授業を通して生徒に気づかせたい価値↓

なんのために決まりがあるのかを再認識し、決まりを守ることが自分と他人お互い安心・安全な生活ができるということ

3 中心発問

「母親のお礼の手紙と懲戒処分の通知の二通の手紙を何度も読んだ元さんの心の中はどんなだろう。」

予想される生徒の反応

- ・保護者からのお礼の手紙には嬉しい気持ち
- ・確かにルールは破ったから懲戒処分は理解できる
- ・懲戒処分については、間違っただけでないのになあという悔しい気持ち
- ・ルールを破ったからしょうがないという諦め

4 発言を大きく2つに分ける

○処分は当然

予想される生徒の反応

- ・決まりを破ったから
- ・自分の判断で迷惑かけた
- ・元さんがルール知らないわけなので処分覚悟でやったから
- ・見つかっただけで、やった行為は重大
- ・今回は見つかったが、何かあったらごめんなさいでは済まないから

●少し納得していない

予想される生徒の答え

- ・姉弟を思いやっていたことなのに、情を入れることはダメなのか
- ・そこまでしなくていいのに
- ・逆に、あなたならどうしてましたか
- ・あなたの情でなんとかならない

2 本質的な問い

・元さんが、会社の処分を晴れ晴れとした気持ちで受け入れたのは、なぜだろう

予想される生徒の反応

- ・入れる時は子供の気持ちだけを考えたが、その後のことを考えられてなかった。
- ・ルールがなんのためにあるのかを心の中から理解した